事業名	【継続】特定健康診査事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
9,169万8	1,335万3	1,994万8		1	5,839万6
事業期間	平成20年度～			総事業費	

【事業目的】

40歳から74歳までの国民健康保険加入者を対象に、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健康診査、保健指導を実施することで、生活習慣病を早期に発見し生活習慣の改善につなげます。併せて、特定の年齢に到達した人を対象に、胃がんリスク検査を実施します。

また、20歳から39歳までの国民健康保険加入者を対象とした若年者健康診査を実施し、早い段階から生活習慣病予防に取り組むことで、特定健康診査の受診率向上につなげ、将来的な医療費の削減、医療費の適正化を図ります。

【事業概要】

①特定健康診査、20歳から39歳の若年者健康診査対象者への受診券案内

②特定健康診査の実施

対象者：40歳から74歳　　健診料：無料

【基本的な健診項目】

・問診、血圧の測定　・身長、体重、腹囲測定
・血液検査（肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査）
・尿検査

【詳細な健診項目】（医師の判断で実施）

・貧血検査　・心電図　・眼底検査

②若年者健康診査の実施

対象者：20歳から39歳
健診料：無料

【健診項目】：
特定健康診査と同内容

③健診結果の通知

④特定保健指導

【追加項目】
胃がんリスク検診の実施

・対象者：20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳（5歳刻み）
・内容：ピロリ菌抗体検査、ペプシノゲン検査

（特定健診受診率・特定保健指導実施率）

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
特定健診受診率	24.3%	34.4%	36.8%	42.7%	45.4%	46.4%	45.7%
保健指導実施率	30.5%	32.5%	42.3%	48.3%	53.3%	54.5%	76.3%

科目	8款	2項	1目	目名称	特定健康診査等事業費	保険健康課（保健センター）

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ ・H26年度より胃がんリスク検査を実施 ・H27年度は30歳・35歳の節目健康診査を実施	上記事業概要と同じ ・20歳から39歳までの若年者健康診査を実施	引き続き実施予定

事業名	【継続】 三会水系高度浄水施設等整備事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
6億4,272万0	1億6,865万7		2億9,500万0	1億6,620万0	1,286万3
事業期間	平成26年度～平成29年度 (複数年度事業)			総事業費	16億170万1

【事業目的】

三会水系の第１水源及び第３水源の水質悪化（硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素濃度の水質基準値超過）に伴う代替水源の開発と民営水道３地区（礫石原町、広高野町、立野町）への給水区域拡張を図ります。

【事業概要】

三会水系に良質な新規水源の確保が困難なため、水源周辺の環境が良好な油堀町、礫石原町並びに立野町に新規水源の開発と浄水、配水施設を新設します。
また、折橋水系から三会配水池への送水施設の新設を計画しています。

事業期間　平成26年度～平成29年度
事業内容

新規水源整備	6本
配水池等整備	3箇所
調整槽整備	2箇所
減圧水槽整備	1箇所
配水管布設等	L=17,164m

※簡易水道再編推進事業との水量による事業間配分あり
・新規水源（油堀）2本
・配水池整備（油堀）1箇所
・配水管布設等（油堀）360m

【事業実施による効果】

水源開発に伴い、原水水質が悪化している既存水源を廃止することで、安全な水道水の供給が可能となります。また、市営水道未普及地域の解消により、市内全域への市営水道サービスを提供できます。

礫石原浄水場新設工事

配水管布設工事

科目	1款	1項	1目	目名称	拡張費	水道課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	水源さく井	5本		水源さく井	1本	
	浄水場配水池新設	2箇所		浄水場配水池新設	1箇所	調整槽新設 1箇所
	減圧水槽新設	1箇所		調整槽新設	1箇所	配水管布設 L=2,220m
	配水管布設等	L=6,524m		配水管布設	L=8,420m	

事業名	【継続】 油堀・長貫簡易水道再編推進事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3,390万0	1,000万0		2,390万0		
事業期間	平成26年度～平成28年度 (複数年度事業)			総事業費	3億2,739万6

【事業目的】

島原市水道事業基本計画に基づき、油堀・長貫簡易水道事業を島原市水道事業へ統合整備することに併せて、取水から送配水施設の課題を広域的な視点から解決します。

【事業概要】

取水地点の変更に伴う水道システム（取水～配水）の再構築と合わせた施設更新を図り、緩やかな傾斜を生かし、環境にやさしく加圧配水に比べ給水停止リスクが少ない自然流下方式による送配水システムを構築します。

事業期間　平成26年度～平成28年度
事業内容　新規水源整備　2本
配水池等整備　1箇所
減圧水槽整備　2箇所
配水管布設等　L=6,611m

※高度浄水施設等整備事業との水量による事業間配分あり
・新規水源（油堀）2本
・配水池整備（油堀）1箇所
・配水管布設等（油堀）360m

【事業実施による効果】

合理的な水道システムの再構築に伴い施設能力の確保、老朽化施設の更新が可能となります。

油堀浄水場新設工事

油堀1号減圧水槽新設工事

科目	1款	1項	2目	目名称	改良費	水道課
事業計画	前年度まで		今年度		来年度以降	
	水源さく井　2本 浄水場配水池新設　1箇所 減圧水槽新設　1箇所 配水管布設替等　L=5,831m		減圧水槽新設　1箇所 配水管布設替等　L=780m		—	